

日 汉 对 照

伤痕

〔日〕小林多喜二著

上海译文出版社

日 汉 对 照

伤 痕

〔日〕小林多喜二 著
杨幸雄 杨国华 译注

上海译文出版社

日 汉 对 照

伤 痕

〔日〕小林多喜二 著

杨幸雄 杨国华 译注

上海译文出版社出版

上海延安中路 967 号

新华书店上海发行所发行

上海新华印刷厂印刷

开本 787×960 1/32 印张 5.5 字数 87,000

1980 年 8 月第 1 版 1980 年 8 月第 1 次印刷

印数 1—25,000 册

书号: 9188·67

定价: 0.45 元

内 容 提 要

小林多喜二(1903—1933)是日本优秀的无产阶级作家和战士，出生在秋田县一个贫苦的农民家庭，1924年毕业于商业学校，1933年2月被日本反动当局逮捕，惨死狱中。著有《一九二八年三月十五日》、《蟹工船》、《在外地主》、《为党生活》等作品。

这里所收的几个短篇小说，从不同的侧面反映了生活在社会下层的日本人民的悲惨生活，作品充满了对被压迫人民的深切同情。读者从这些作品中可以看到当时日本的社会面貌。

目 录

不幸的人·····	2
腊 月·····	14
杀人凶狗·····	44
田口同志的伤感·····	58
爸爸要回来啦·····	96
信·····	104
伤 痕·····	116
母亲和妹妹的生活道路·····	124
失业货车·····	138
小健的作文·····	164

のろ ひと 呪われた人

かれ ちかごろな ひだり むね おもくる あつ
彼は近頃何んだか、左の胸が重苦しく圧せられ
る¹様に²感じた³。「どうしたんだろう⁴」と云う⁵て
は⁶、時々仕事の手を休めて胸をさすったり⁷、深
く呼吸して見たりした。

かれ じゅうごさい とし か ざんばいがいしや かよ
彼は十五歳の時から火山灰会社に通っていた。
かれら みなくち てぬぐい おけ か ざんばい もうもう
彼等は皆口を手拭で覆いながら⁸、火山灰の 朦々
と立上って息が詰りそうな⁹所でいつも 働いてい
た。そして時々鼻をかむと火山灰の粉が交って出
て来るのであった。その度毎に彼は肺に障らない

1. (圧せられる) 圧せ: サ变动词“圧する”的未然形; られる: 助动词“られる”的连体形, 表示被动, “られる”一般接在上一段、下一段或カ变动词未然形后边, 但有时也接在某些サ变动词未然形(セ)后边。

2. (様に) 助动词“ようだ”的连用形, 接体言+の或活用词的连体形后, 这里表示比喻。△まるで春のように暖かい。/简直象春天一样温暖。

3. (た) 助动词“た”的终止形, 接动词、形容词、形容动词或助动词连用形后, 这里表示过去。△昨日、私は彼のうちへ行った。/昨天我到 he 家里去了。“た”接在ガ、ナ、バ、マ行五段动词连用形后边时, 变为“だ”。

4. (どうしたんだろう) 由“どう”、“し”、“た”、“ん”、“だろ”、“う”等六个词构成, 表示对某件事疑惑不解, 意为“怎么搞的(呢)?”、“怎么回事呢?”。ん: 形式名词“の”的音变, だろ: 助动词“だ”的未然形, う: 助动词“う”的终止形, だろう: 表示推测。

不幸の人

他近来总感到左胸仿佛被什么东西压着似的，郁闷难受。“怎么搞的呀？”他说着，不时放下手里的活儿，一会儿摸摸胸口，一会儿做做深呼吸。

他从十五岁起，就在火山灰公司工作。他们经常用手巾捂住嘴，在火山灰弥漫得令人窒息的地方干活。而且往往一擤鼻涕，火山灰粉末就会跟着带出来。每遇这种情况，他就担心会不会影响肺部。

5.〔云う〕“言う”的ウ音便形，等于促音便形“言っ”。（“いう”的“い”，汉字应为“言”。）

6.〔ては〕接动词、形容词或助动词的连用形后，这里表示一个主体前后项动作的反复进行。△敬愛する周總理を思つては、感動の涙をこぼす。/每当想起敬爱的周总理，总是感动得流下眼泪。“ては”接在ガ、ナ、バ、マ行五段动词连用形后边时，变为“では”。

7.〔たり〕接在活用词连用形后，以“…たり…たり”的形式，列举同类动作或状态。△本を読んだり、手紙を書いたりして日曜を過ごした。/看看书，写写信，就这样度过了星期天。“たり”接在拨音便形或ガ行イ音便形后边时，变为“だり”。

8.〔ながら〕接动词连用形后，表示前后项动作同时进行。△新聞を読みながら食事をする。/边看报，边吃饭。

9.〔そうな〕助动词“そうだ”的连体形，接动词或“れる（られる）”“せる（させる）”等助动词的连用形，以及形容词、形容词动词、“たい”“ない”等助动词的词干后，表示说话人对某事经过观察而得到的印象。そうだ：接形容词“ない”“よい”后时，“ない”“よい”的词干后需加一“さ”字，如：“なさそうだ”“よさそうだ”。△汽車が出そうだ。/火车要开了。

かしら¹と、氣遣^{きづか}うのであった。

ところが又、彼の胸^{また}がチク^{かれ}チク^{むね}と痛み^{いた}出し^だ²、
ゴホンゴホンという軽^{かる}い咳^{せき}さえ³交^{まじ}ってき⁴た。「は
で⁵なあ⁶……」と考^{かんが}えられる事^{こと}は幾度^{いくど}もあ^{かれ}った。彼
はふと或事^{あること}に思^{おも}い到^{いた}った、その時^{とき}彼はハッ^{ときかれ}と驚^{おどろ}き
血^ちの氣^けを失^{うしな}った。「……いやいやそんな事^{こと}があ^{おも}っ
て耐^たるものか⁷」と云^いうたが、然^{しか}し、一^{いちど}度^{ども}そう思^{おも}っ
て見^みると胸^{むね}の異状^{いじょう}が一つ一つ思^{おも}い当^{あた}る節^{ふし}⁸がある。
それでも⁹恰^{あたか}も泉^{いづみ}の涌^わくが如^{ごと}く^も¹⁰「若^もしや……」とい
う不安^{ふあん}が、ヒッ^{おしよ}シと¹¹押寄^{おしよ}せて来^きた。彼^{かれ}は其^その度^{たび}
毎^{ごと}に無^む理^りな否^{ひてい}定^{ことば}の言^い葉^はを絞^{しぼ}り出^だして極^{きわ}めて危^き険^{けん}な
自^じ分^{ぶん}の位^{いち}置^{あん}を安^{あん}心^{しん}な域^{いき}に置^おこ^おう¹²とし^おた。又^{また}勉^{まつ}め
てそんな事^{こと}は思^{おも}わな^{はたら}いで、働^{はたら}こうともし^{しか}た。然^{しか}し
愈^{いよいよ}愈^{ますます}益^よ益^{あん}不安^{おそ}の念^{ねん}に襲^{おそ}わ^{おそ}るる¹³のであ^{おそ}った。

彼^{かれ}はあ^{きゆうじつ}る休^も日^{より}に、最^{びよういん}寄^いの病^{かれ}院^{いた}へ行^いった。彼^{かれ}は痛^{いた}

1. (かしら) 在句末(包括用“と”引出的小句子末)表示怀疑。△私にできるかしら。/我能行吗?

2. (出し) 动词“出す”的连用形, 接动词连用形后表示“开始”。△雨が降りだした。/开始下雨了。

3. (さえ) 接各种词后, 这里表示添加。△道に迷って、雨にさえ降られて、さんざんだったよ。/迷了路, 又遭到雨淋, 弄得狼狈不堪。

4. (き) “来る”的连用形, …てくる: 接动词连用形后, 表示“开始~起来”。△だんだん寒くなってきた。/逐渐冷起来了。

5. (はて) 迷惑不解或犹豫不决时发出的感叹声。△はて、どうしよう。/这, 怎么办呢?

6. (なあ) 接各种词后, 表示加强语气。△中華料理はうま

可是，这一次他的胸口竟然开始隐隐作痛起来，甚至带有“咯咯”的轻微咳嗽声。“这……？”他百般疑虑。突然，他联想到一件事。这时，他便吓得面无人色……“不，不，这不可能！”虽然这么说，但仔细一想，胸部的每一种异常情况，使人愈想愈感到是肺病的迹象。于是，那种“万一……”的不安心情便象泉水般地紧紧袭来。每当这种时候，他总是硬想出一些否定的理由，借以从心灵上摆脱自己极其危险的处境，并试图尽量不去想这类事情，专心致志地干活。然而，不安的心情却越发频繁地袭来。

在一个休息天，他去附近一家医院看病。他一

いなあ。/中国菜真好吃！

7.〔ものか〕接句末活用词的连体形后，表示强烈的反驳或断然否定。△世の中にお化けなんかがあつてたまるものか。/世上根本不可能有什么鬼！

8.〔節〕地方，点。△彼の話にははっきりしない節がある。/他的话里有含糊的地方。

9.〔それでも〕从前后关系来看，该词应为“それで”。

10.〔如く〕文言助动词“ごとし”的连用形，接活用词的连体形、活用词连体形+が或体言+の后面，表示比喻。△彼はこのことについて、てのひらを指すがごとくよく知っている。/他对这件事了如指掌。

11.〔ヒッシと〕由“ひしと”变化而来，但语气比“ひしと”强烈，意为“紧紧地”。

12.〔う〕助动词“う”的终止形，接五段动词、形容词、形容词词、部分助动词的未然形后，这里表示意志。△彼は川を泳いで渡ろうとしたが、流れが急で果たせなかった。/他想游到对岸去，可是水流太急，没能成功。

13.〔襲わるる〕文言动词“襲う”的被动态“襲わる”的连体形，等于“襲われる”。

む胸を抑えながら色々^{いろいろ}の事を想^{おも}った。「若^もし そう
だったら……」^{こと}「いやそんな事^{こと}はない……」然^{しか}し診^{しん}
察室^{さつしつ}から出^でて来^きた時^{とき}の顔^{かお}は、少^{すこ}しの血^{けつ}色^{しよく}もなく、
唇^{くちびる}はワナワナと震^{ふる}えていた。

「ああ……矢張^{や は}りそうだったのか^{かれ}なあ」と彼^{かれ}は
今迄^{いままでは}腫物^{しよぶつ}の様に^{よう}して置^おいた^も、^{もつと}「若^もしや……」という
最^{ことば}もいまいましい言^{ことば}葉^はは「まさか……」という言^{ことば}葉^は
を否定^{ひ てい}して、儼然^{げんぜん}たる「である」^{だんていてき}という断^{かわ}定的^{てき}に変^{かわ}
った。「ああ肺病^{はいびよう}、人^{ひと}に嫌^{きら}われる肺病^{はいびよう}、俺^{おれ}はその恐^{おそろ}
しい病^{やまい}に罹^{かか}ったんだ。……もう何^{なに}も出来^{でき}ないで始^し
終^{じゆう}青^{あお}い顔^{かお}をし^{せき}、ゴホンゴホンと咳^{せき}をしては、膿^{うみ}の
様^{よう}な痰^{たん}を吐^はく、それ^{ときどき}に時^ち々^ち……血^ちが……血^ちが……」
彼^{かれ}は何^{なに}も^み見^まえない魔^まに追^おわれた様^{よう}に、ソワソワ
して苦^{くる}しそうに悶^{もだ}えた。

「おい君^{きみ}！風邪^{かぜ}でも^ひ引^ひいたんだろう。な^{いちにち}に一日^{いちにち}
く^ねらい^な寝^ねればすぐ全^な治^おっちまう^よよ^し」と何^{なに}も知^しら
ない彼^{かれ}の友^{とも}杉^{すぎの}野^のは、これ^い以^{じよう}上^い慰^{あん}安^{あん}の言^{ことば}葉^はを言^い
こ^{でき}とは出来^{すぎの}なかつた。「杉^{すぎの}野^のは何^{なに}も知^しらないが、若^も
し知^しったらこの様^{よう}に話^{はな}したり^{はな}してくれ^{はな}ないだろ

1. (か) 这里表示带有感叹情绪的自问语气。△そうか。どうしてもだめか。/原来如此!怎么搞都不行啊!△そうか?/是吗?

2. (腫物の様にして置いた) ……おく; 表示一直保持某种状态。△子供たちを捨てておくのはよくない。/对孩子们放任不管是不好的。

3. (青い顔をし) 意为“脸色苍白”。…顔をする; 表示脸部的

边按着疼痛的胸口，一边左思右想：“倘若真是这样的话……”“不，不会有这种事……”可是，走出诊疗室的时候，只见他面无人色，双唇不停地颤抖着。

“唉……还真是这么回事儿啊！”他以前把它看作毒瘤的“万一……”这个最厌恶的词，如今已否定了“总不会……”这句话，而俨然变成了“是”这句斩钉截铁的话了。“唉！肺病，令人讨厌的肺病，我居然得了这种可怕的病……我将什么事都不能干了，永远脸色苍白，‘咯咯’地一阵咳嗽之后，吐出脓样的痰，甚至时常会伴有……血……血……”他仿佛被无形的魔鬼驱赶着似的，坐立不安，苦闷万分。

“喂，你感冒了吧？没关系，休息一两天就会好的。”对他的病情一无所知的朋友杉野，除了这几句话以外，再也说不出更好的话来安慰他了。“杉野什

表情、△彼女は困ったような顔をした。/她露出为难的情绪。

4.〔何も〕从前后关系来看，该词应为“何か”。

5.〔でも〕接体言后，这里表示从类似事物中举出一个例子。
△天氣がいいから、公園へでも遊びに行こうか。/天气很好，咱们到公园(或者其它什么地方)去玩吧。

6.〔くらい〕接体言、活用词连体形后，表示大致的程度。
△ロンドンまで飛行機で片道いくらぐらいかかるのですか。
/乘飞机去伦敦，单程需要多少钱？

7.〔ちもう〕“てしまう”的约音。接动词连用形后，表示动作的完了。
△三日で書いてしまった。/三天就写完了。
△みんな食べちまえ。/吃光算数。

8.〔よ〕表示加强语气。
△旅行に行ったら、体には十分気をつけるんだよ。/出去旅行，要注意身体啊。

9.〔たり〕表示举一事例，暗示其它类似的事项。
△教室で騒いだりしてはいけません。/不能在教室里吵啊闹的。

う。でも俺の病氣は彼等に知らせね¹ ばならない
 だろう。けれども俺は彼等の前で、言い得る² だけ³
 の勇氣があるだろうか⁴ ……ああととても云えない」
 彼は非常に思い悩んだ。彼は病院が何んだか厭で
 たまらなく、すぐ家へ帰ろうとした。彼はなるだ
 け人の眼に入らない様に⁵ 少し俯向加減に⁶、こそ
 こそと街の隅の方を選んで歩いた。彼は道々色々
 の事を頭に浮べた。「医者が肺病だと言ったよ…
 …」と家に帰って云う時に、年寄った親達の驚く
 顔を想像して見た。その時彼は一種の復讐を感じ
 た。「親父があんな所へやったからよ。家だって⁷
 そんなに貧乏でないんでないか⁸。S(中学校を卒
 業して、現に三菱に出ている)の家だってそんな
 に良い暮らしをし⁹ て居ないが、もう参拾円も取っ
 ているんだ。ふん馬鹿嗅い。」そして口惜涙を流し
 た。然し、この憂悶を打消すだけの一つの閃きが

1. (ね) 助动词“ぬ”的假定形，接活用词未然形后，表示否定。“ぬ”的终止形和连体形，有时用“ん”，尤其接助动词“ます”后，一般都采用“ません”的形式。△今すぐ行かねば間に合わんぞ。/不立刻去就赶不上啦！

2. (得る) 接动词连用形后表示“能够”，也可读作“うる”。△そんなことがありえるものか。/这种事绝不可能！

3. (だけ) 接体言、活用词连体形后，这里表示程度。△泳げるだけ泳ぐ。/能游多长就游多长。△彼には大学に受かるだけの実力がある。/考大学他是有把握的。

4. (か) 表示疑问。△何かご用ですか？/你有什么事吗？

么都不知道，但若知道的话，恐怕不会跟我这样说了。不过，我的病情还是应该告诉他们吧。然而，我能有足够的勇气在他们面前说出来吗？……哎，我怎么也说不出口啊！”他苦恼异常，不知为什么竟对医院感到讨厌透了，他想立刻回家。他微低着头，尽量不惹人注意，悄悄地尽找马路的偏僻处走。一路上，他的脑海里浮现出各种各样的想法。“医生说是肺病……”他想象着自己回到家里说这句话时，年迈的双亲那副吃惊的神色。这时，他产生了一种复仇的心理。“这只能怪父亲让我到那种地方去干活。我们家难道说会有那么穷吗？S（中学毕业后，现在三菱公司工作）家的生活也不怎么好，可现在一个月已经能挣三十块钱了。哼，真划不来。”于是，他流下了忿恨的眼泪。然而，他头脑里又闪过了一个念头，足以打消这个郁闷：“可是也没

5. (様に) 表示目的。△遅れないように早く出かけたほうがいい。/还是早点去好，免得迟到。

6. (俯向加減に) 意为“微低着头”。かげん：在这里是接尾词，接动词连用形或表示状态的名词后，表示程度或倾向。△彼女はあおむきかげんに彼を見た。/她抬头朝他看了一眼。

7. (だって) 接名词后，表示列举某一极端的事项。△そんなことは、小学生だって知っているよ。/那种事连小学生都知道！

8. (か) 表示反驳或质问。△こんな待遇じゃ食っていけないじゃありませんか。/照这种待遇，叫人怎么过日子啊！△私のお願いじゃ聞いていただけないんですか。/我求你，你就不答应了？

9. (良い暮らしをし) 日子过得很好。

かれ あたま うか や はりし かた
彼の頭に浮んだ。「——だが矢張仕方がないので¹、
うち とお かあ おれ こうとうか³
家もあの通りだもの²お母さんだって俺を高等科³
に上げよう⁴として、夜遅くまで賃仕事⁵をし、そ
れに朝早く起きて親父を仕事場に出してやる。又
おやじ さむ ところ はたら ひと
親父もあの寒い所で働く人だ。——こうするの
むり おも ときうち せいかつなん うか
無理がない」と思った、その時家の生活難が浮
だ。おれ も はたら いちにち くら
だ。「俺が若し働かなかつたら、一日だって暮
て行けない。それに俺は働かないでその上金を費
わねばならない。随って皆んな餓死の悲運に陥
うち かえ
のだ。ああとても家へは帰られ⁶ない。どうしたら
おれ びようき ふち やまい かね か
よかろう。俺の病氣は不治の病だ。金を借りる
け 損だ……。」

かれ きようき く もん かれ
彼はもう狂気にならんまで苦悶した⁷。彼はその
せつな じ さつ ひらめ
刹那チラリと「自殺」ということが閃いた。——「お
まえ みずか し いつか と ほう く
前は自ら死ななくては⁸、一家は途方に暮れる⁹、
います ところ し かれ けつしん
今真ぐ¹⁰あの所で死ぬ」——彼はもう決心をした。
「そうだ、俺はどうせ薬も買えない。そうすれば死
きま い し うち かね いちもん
ぬに定って居る。そうだ死のう、家の金を一文も

1. (ので) の: 形式名词。で: 助动词“だ”的连用形, 表示中顿。不要和表示原因的“ので”相混同。

2. (もの) 接活用词的终止形后, 表示带着某种情绪表述理由。△だって, 行きたいんだもの。/因为我想去呀!

3. (高等科) 高小。

4. (よう) 助动词“よう”的终止形, 接上一段、下一段、カ变、サ变等动词及“れる(られる)”、“せる(させる)”等助动词的未然形后, 这里表示意志。△眠くなってしまったから、あし

有办法，家里就那么个情况。母亲为了让我上高小，她每天手工活一直做到深夜，第二天还得清早起来，照料父亲去上班。再说父亲又是在那么寒冷的地方工作。他们这样做，也有他们的道理。”这时，眼前浮现出家庭生活困难的情景。“我要是不干活，那就一天也活不下去，况且我不劳动，又要花钱。这就会使全家都陷入饿死的悲惨境地。唉，我简直不敢回家。怎么办呢？我的病是不治之症，借钱也是白借……”

他苦闷得快要发疯了，刹那间，闪过了“自杀”的念头：“要是你自己不死，一家人将陷入绝境，现在马上到那个地方去死了吧。”他已经下定了决心。“是啊，我反正连药也买不起，这就肯定会死。对，去死吧！又不需要花家里一分钱。”想到这里，泪水

た早く起きて勉強することにしよう。/想睡觉啦，明天早点起来用功吧。

5.〔賃仕事〕手工副业。

6.〔られ〕助动词“られる”的未然形，这里表示可能。△この飛行機は、約百人の旅客を乗せられるんです。/这架飞机可载旅客一百人左右。

7.〔狂気にならんまで苦悶した〕苦闷到要发疯的程度。这里的“ん”系从文言助动词“む”变化而来，接活用词未然形后表示推测。△あわや悪人の手に捕らえられんとしたとき、一人の青年が現われた。/眼看就要被坏人抓住，幸亏遇上了一位年轻人。

8.〔ては〕表示条件。△こんなに暑くてはなんにもできません。/天气这么热，什么也干不了。

9.〔途方に暮れる〕走投无路，无法可施。

10.〔真ぐ〕“すぐ”的“す”，汉字应为“直ぐ”。

つか かわ ないで……」彼の^{かれ}頬^ほからはとめどもなく涙^{なみだ}が
なが なが なが なが なが なが なが なが なが なが
流れた。「俺^{おれ}は二十^{はたち}の今日^{こんにち}まで何^なんて生^いきて居^いたろ
う。こんなになるんだったら早^{はや}く死^しねばよかつ
た。」

かれ あし かいがん む しか おれ したい
彼の足^{あし}は海岸^{かいがん}に向^むいた。「然^{しか}しこの俺^{おれ}が死^し体^{たい}とな
って、父^ふ母^ぼの前^{まえ}に出^でた時^{とき}……ああその時^{とき}父^ふはどん
な思^{おも}いをするだろ。母^{はは}は定^{さだ}めし氣^き狂^{きちがい}となるだろ
う。ああ済^すまない。」

かれ だんがい うえ た した うみ き がんつつつ
彼は断崖^{だんがい}の上^{うえ}に立^たった。下^{した}は海^{うみ}、奇岩^{きがん}突兀^{とつとつ}とし
た海^{うみ}、ああ自分^{じぶん}はあの岩^{いわ}に頭^{あたま}を割^わる……ああ恐^{おそ}ろ
しい、彼はしばし涙^{なみだ}にくれた¹。折^{おり}しも太陽^{たいよう}は赤^{あか}く
おお おお く ばんぶつ あか ただ
大き^{おお}くなつて暮^くれようとして、万^{ばん}物^{ぶつ}は赤^{あか}く爛^{ただ}れ、
あお あお くれ はんめん ものすご も
青^{あお}ざめた彼の半面^{はんめん}は物^{もの}凄^{すご}く燃^もえた。

——太陽^{たいよう}は沈^{しず}んだ。然^{しか}し彼は黙^{かれ}として²動^{うご}かな
い。四方^{しほう}は蒼^{そう}然^{ぜん}として暮^くれた。

1. (しばし涙にくれた) 痛哭了好一阵子。

2. (黙として) 默然。

止不住地从他的双颊流了下来。“我为什么要活到二十岁呢？要是知道会落到今天这步田地，还不如早死了倒好。”

他向海边走去。“可是，倘若我的尸体被抬到父母面前时……唉，那时父亲会怎么想呢？母亲一定会发疯的。唉，太对不起他们了。”

他站在断崖上，下面是海，海边怪石嶙峋。“啊，我将在那怪石上摔得头破血流……唉，多可怕啊！”他痛哭了好一阵子。这时，落日又红又大，万物染得殷红斑斑。他那苍白的侧脸被映照得令人可怕。

太阳西沉了。可是他却默然不动。四周笼罩在一片苍茫的暮色之中。